

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	Oxford大学 St Hilda's College	参加 プログラム名	Oxford大学 St Hilda's College 春期語学 研修	国名	イギリス
氏名		学籍番号		学科	多文化・国際協力学科
参加時の 学年	2年生	参加費用 (日本円での概算)	約75万円		
参加日程	2025 年 3 月 15 日 ~ 2025 年 3 月 30 日 (2 週間)			記入年月日	2025 年 4 月 1 日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

私がこの研修に参加した目的として、まず語学力の向上が挙げられる。午前中のTheme Lessonでは、イギリスやオックスフォードについての知識を深めることに加えて、英語で内容をインプットできるようになることを目標としていた。午後に行われるプロジェクトワークでは、英語を使ってコンパニオンやグループメンバーに自分の意見を伝えることを目標としていた。またプログラム全体を通しての目標は、失敗を恐れることなく、英語で表現することにチャレンジし続けることであった。そのように思ったきっかけは、高校時代に参加した異文化交流プログラムで感じた悔しさからであった。さらに、この研修を自己成長の機会にも繋げたいと考えていた。いつもと違う環境に自分の身を置き、普段関わらない方との関わりを通じて、多様な視点や考え方を吸収したいと思っていた。その中で、自分の興味や関心を再発見し、在学中にチャレンジしたいことを見つめ直す機会にしたいと思ったため今回の参加を決意した。

② プログラムについて

研修・活動の感想

午前中の授業では、イギリスやオックスフォードについて英語で理解を深めることができたように思う。授業中、先生方は私たちに双方向コミュニケーションの機会をたくさんくださった。中でもロミオとジュリエットの話に自分たちオリジナルのセリフを加えて、劇をするという授業とオックスフォードの街にある建物の特徴を学び、実際に街へ出てみて学ぶという2つの授業がとても印象に残っている。劇をした授業では、2グループに分かれて同じシーンを演じたため、別のチームが自分たちと違う演じ方をしていることがとても面白かった。また、各班好きな場所で練習する時間があつたため、晴れ空の中、同じ班の人と練習をしたことが思い出に残っている。建物の特徴についての授業では、自分が何気なく歩き、見ていた風景について学んだため、とても興味深かった。授業後も街に行くたび、しっかり復習を行った。その他にもこの報告書では書ききれないくらい様々な体験をし、本当にこのプログラムに参加できて良かったと心から感じている。

研修・活動以外の部分についての感想

今回の滞在では、週末が1回のみであった。そのため、私は1週目の木曜日と土曜日にロンドンを訪れた。ロンドンとオックスフォードは街の雰囲気が全然違うと感じた。私は、バッキンガム宮殿が一番好きな場所だった。朝と夕方の2つの時間帯で見ることができ、閑静な雰囲気と圧倒的な存在感があった。とても素敵だった。また、大英博物館やナショナルギャラリーにも行くことができた。移動中には映画の撮影現場にも遭遇した。自由行動の時間が限られていたからこそ、ロンドンの街についてしっかりと調べ、計画を立て、自分たちで充実した時間を過ごせたことも自信に繋がった。日曜日の午前中には念願のAfternoon Teaを食べに行った。午後からは、Warner Bros. Studio Tour Londonへ行った。今まで見る機会がなかったハリーポッターは、行きの飛行機で見た。実際に自分の知っているシーンの模型や撮影の裏側などを見て、改めてもう一度見たいと思った。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません。

現地学生とは、午後のプロジェクトワークのコンパニオンとの交流が挙げられる。私の班はブラジル出身のDanielaという女性の方だった。彼女は私たちのグループワークに積極的に参加してくれた。一緒に資料を探してくれたり、質問をすると分かりやすく教えてくれたりした。また、プロジェクトワークを始める前には、アイスブレイクをしてくれた。英語の表現が出ず考えている間も、ずっと待っていてくれて話しやすかった。また、週3回あったアクティビティでは、Oxfordの街をたくさん紹介してくれた。街を歩きながら積極的に彼女に話しかけ、様々なことを教えてもらった。自分の興味のある研究についても話すことができ、なんで？どうして？とたくさん質問をしてくれ、嬉しかった反面どうしてだろう？と自問自答する場面もあり、自分の関心を見つめ直すいいきっかけになった。最終日には班のメンバー全員で彼女が教えてくれたおすすめのレストラン料理のお店に行った。初めてのレバノン料理はとても美味しくて、感動した。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

まず、英語で楽しく会話をする力は確実についたと思う。最初は聞き取ることも会話をすることも難しく、座学だけでは学べない力が必要だと痛感していた。しかし、4日が経った頃からだんだんと聞ける！話せる！と実感できるようになった。また、時差ボケがあったり、日本と比較した環境の違いに戸惑ったりすることも多々あった。だが、郷に入っては郷に従えと自分に言い聞かせ、普段は食べない文化圏の料理にチャレンジしたり、街へ積極的に出かけてみたりし、貴重な経験を積むことができた。また今回の目標の1つであった、在学中にチャレンジしたいことを見つめ直すことについても達成できたと思う。本当にやりたいことやこれからの自分が優先して取り組むべきことなどを改めて整理することができた。さらに、私の中で他学科の方との関わりが大きな刺激となった。違う専門性を持つ仲間と1つのテーマについて話し合い、プレゼンを完成させ、成功を収められたことが私にとって大きな刺激となった。そして、仲間の存在に精神的にもたくさん支えられた。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

・授業やプログラムはとても充実しており、貴重な経験をさせていただけたと感じています。しかし、今回は週末が1度しかなかったため、自由に過ごせる時間が少なかつたように思います。もう少し時間があつたら、他のイギリスの都市を訪れ、オックスフォードやロンドンと比較したり、ロンドンで行けなかった場所にも足を伸ばしたりできたように思いました。

国際センターのHPに掲載してもよい写真があれば添付してください。キャプションもつけてください。

部屋の写真



ビッグベンと私



金曜日のお昼ごはん



University Church of St. Mary the Virgin, Oxford



St. Hilda College



Oxfordの街並み



お店で食べたFish & Chips



レバノン料理



Warner Bros. Studio Tour London



ナショナルギャラリー

